

事業所名

放課後デイサービス暖母多の津II

支援プログラム(参考様式)

作成日

令和8 年

2 月

20 日

法人(事業所)理念		<p>【法人理念】 安心して利用でき、「心の支え」「豊かな生活の支え」を理念とし事業運営おこなう。 【事業所理念】 児童福祉法に基づき、5領域(健康・生活／運動・感覚／認知・行動／言語・コミュニケーション／人間関係・社会性)を相互に関連づけ、支援を行う。 (放課後デイサービス・保育所等訪問事業・居宅訪問型児童発達支援事業)</p> <p>【支援目的】発達支援とともに、自己効力感(自分ができるという感覚)の育成 子どもの主体性を尊重し、「できないことの改善」ではなく「できる方法を共に見つける支援」を基本とする。</p>	
支援方針		<p>【多機能型事業所としての特徴を活かした、地域とともに育つ支援の提供】 児童が保育所・幼稚園・学校等において安心して集団生活を送ることができるよう、児童本人への支援と、周囲の支援者(保育士・教員等)への及び支援方法の提案、環境調整を行うことにより、下記内容により生活の質の向上と社会参加の促進を図る。 ①集団生活への円滑な参加を促進する ②児童の特性に応じた関わり方の共有 ③不適応行動の予防及び軽減 ③保護者・関係機関との連携強化</p>	
営業時間		平日:10:00~19:00	送迎実施の有無 あり なし
		支 援 内 容	評 価 及 び 見 直 し
直接支援	心身機能・身体構造	<p>【注意機能、感覚特性、情緒の安定性等】 観察・アセスメント:時間帯・場面別の行動観察・環境要因(人的・物理的)の分析</p>	<p>【評価指標】 参加状況の変化(活動・対人) 行動面の変化(頻度・強度) 支援者の関わり方の変化</p> <p>【見直し】 定期的(少なくとも6か月以内)に評価 個別支援計画および関係機関と共有し更新</p>
	活動	<p>【指示理解、課題参加、切替行動等】 環境調整:座席配置、動線の工夫・視覚的支援(スケジュール・ルール提示)・刺激量の調整</p>	
	参加	<p>【学級・集団活動への参加、対人関係】 関わり方の提案(具体的助言):指示は短く具体的に・事前予告・見通し提示・成功体験を積み重ねる関わり</p>	
	環境因子	<p>【人的環境(関わり方)、物理的環境(構造化・視覚支援等)】 直接支援(必要時のみ):モデル提示・行動のきっかけづくり</p>	
間接支援		保育士・教員への支援等の提案(その場・書面) ケース会議参加 訪問後の報告書作成(園・家庭共有)	
その他		訪問頻度:受給決定量内を上限として、個別支援で計画量での訪問 支援形態:同席支援／観察/提案/聞き取り 記録:訪問ごとに記録作成(ICF視点) 報告:学校・園および保護者へ口頭またはメール等での書面で共有	家族支援・訪問先・その他連携 保護者との定期的情報共有 学校・園との協働(担任・支援員) 相談支援専門員との連携 必要に応じ医療・他事業所と連携
職員の質の向上		関係機関のそれぞれの役割を理解し、細やかな情報・課題の共有を行い柔軟にコミュニケーションをとる。 訪問現場での活動の意図や目的を理解し、訪問先の指導を尊重しながらのサービスの提供を進める。	留意事項 児童の最善の利益と尊厳の尊重 学校・園の運営への配慮 支援内容の合意形成と継続性の確保